

テレワークセミナー第6回_テレワーク導入企業の体験談

第一三共グループにおける経営戦略としての働き方改革

2022年10月7日
第一三共株式会社
人事部
八巻 琢也



1.第一三共グループ概要

2.DS Smart Work（国内）

■背景・目的

①多様な働き方の推進

②IT基盤強化

③オフィスの再設計

3.Global Work Style（グローバル）

■グローバル化進展への対応

事業内容

医薬品の研究開発、製造、販売等

従業員数

約 **16,500** 人 (第一三共グループ_グローバル)

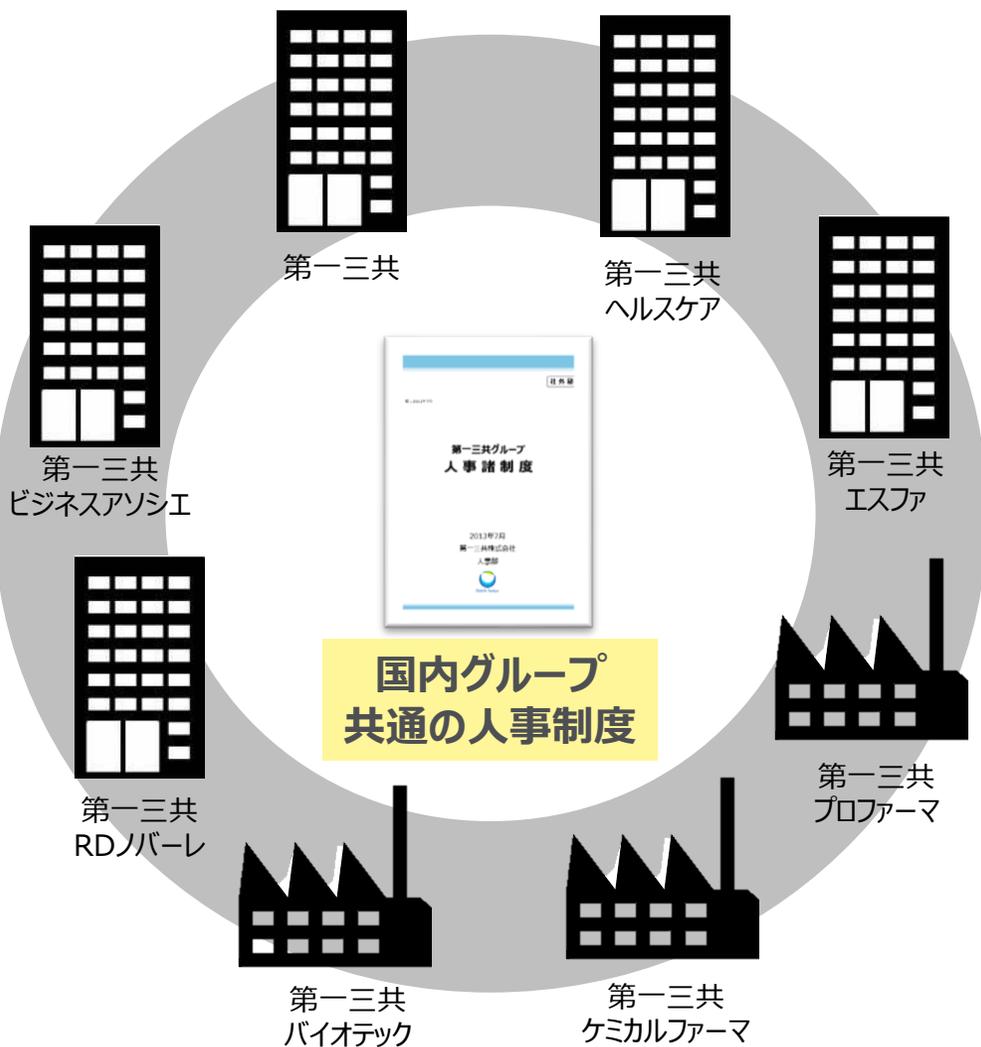
約 **9,400** 人 (第一三共グループ_国内)

約 **5,900** 人 (第一三共株式会社_単体)

売上高

1兆449 億円 (2021年度)

多様な医療ニーズに応える医薬品を提供するために国内グループ一丸となって経営推進



新しい成分の
医薬品による治療



イノベーティブ
医薬品

高品質な薬を
より安価に



ジェネリック
医薬品

病気の発症を
予防



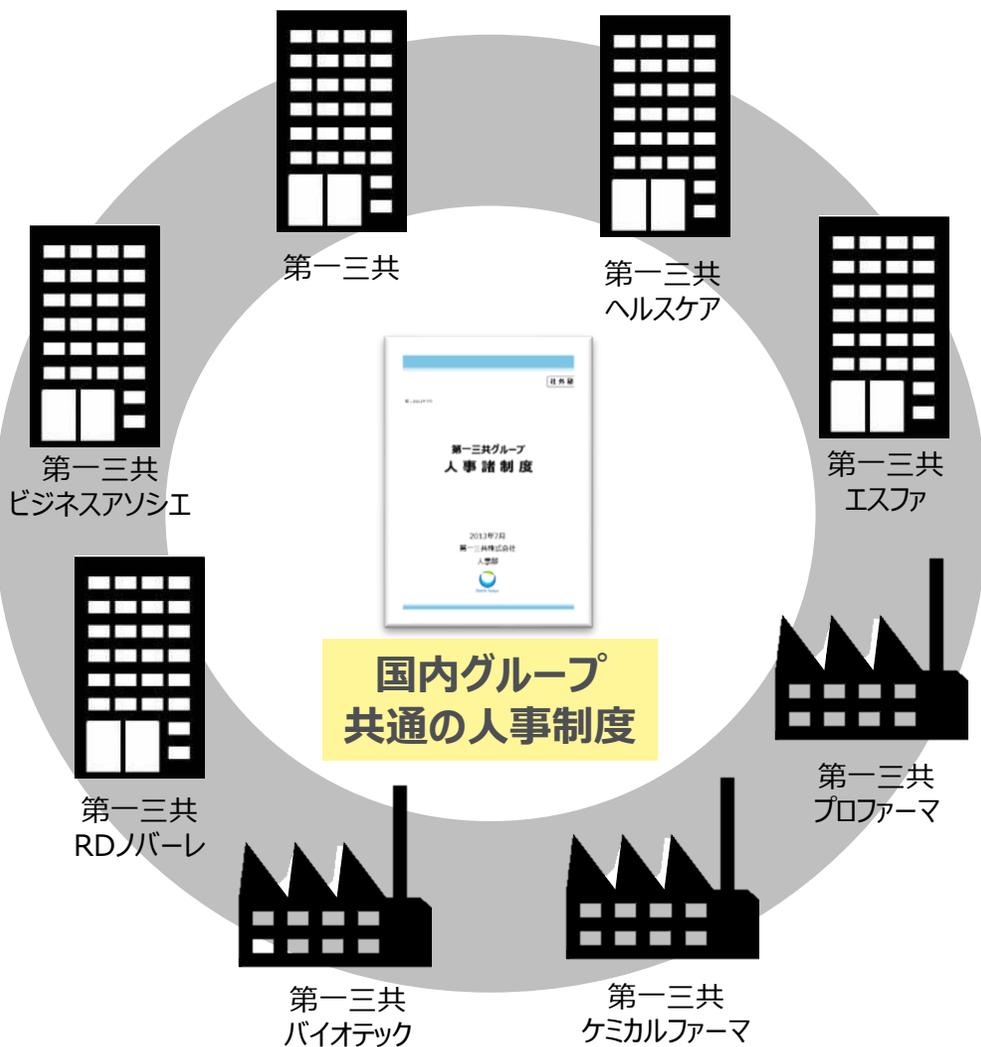
ワクチン

セルフ
メディケーション

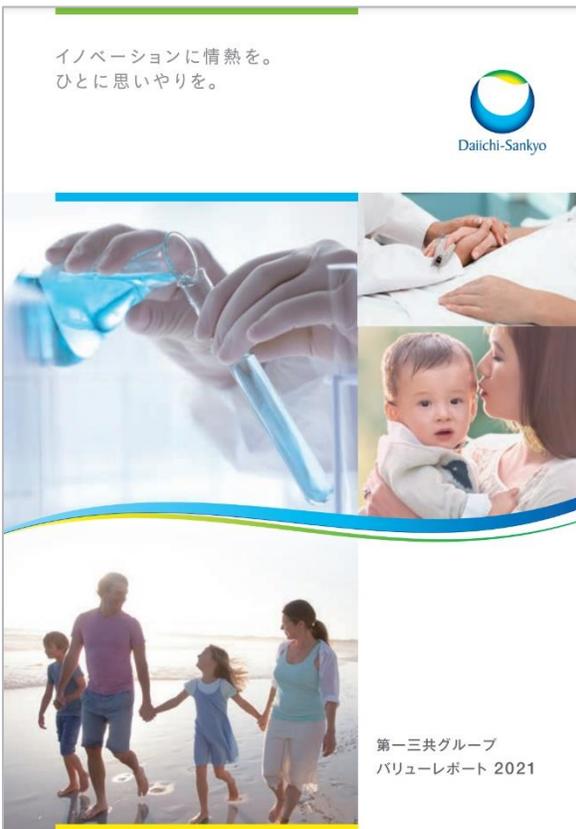


一般用
医薬品

幅広いバリューチェーンをグループ全体で担い、直接部門の職種も多く存在



第一三共グループの存在意義とマテリアリティ（重要課題）



第一三共グループ
バリュールポート2021

**当社の
パーパス** **世界中の人々の健康で
豊かな生活に貢献する**

=

3 すべての人に
健康と福祉を

事業に関わるマテリアリティ
(革新的な医薬品の創出 (ほか))

事業基盤に関わるマテリアリティ



**競争力と優位性を生み出す
多様な人材の
活躍推進と育成**

コンプライアンス
経営の推進

企業理念の
実現に向けた
コーポレートガバナンス

環境経営の推進

第一三共グループでは、「人」を最重要な「資産」と位置づけ（中略）多様な人材の活躍推進と育成により、社員と会社の相互成長を目指すことで、競争力と優位性の創出に繋げていきます。

その取組みのひとつが、『**DS Smart Work**』

1.第一三共グループ概要

2.DS Smart Work（国内）

■背景・目的

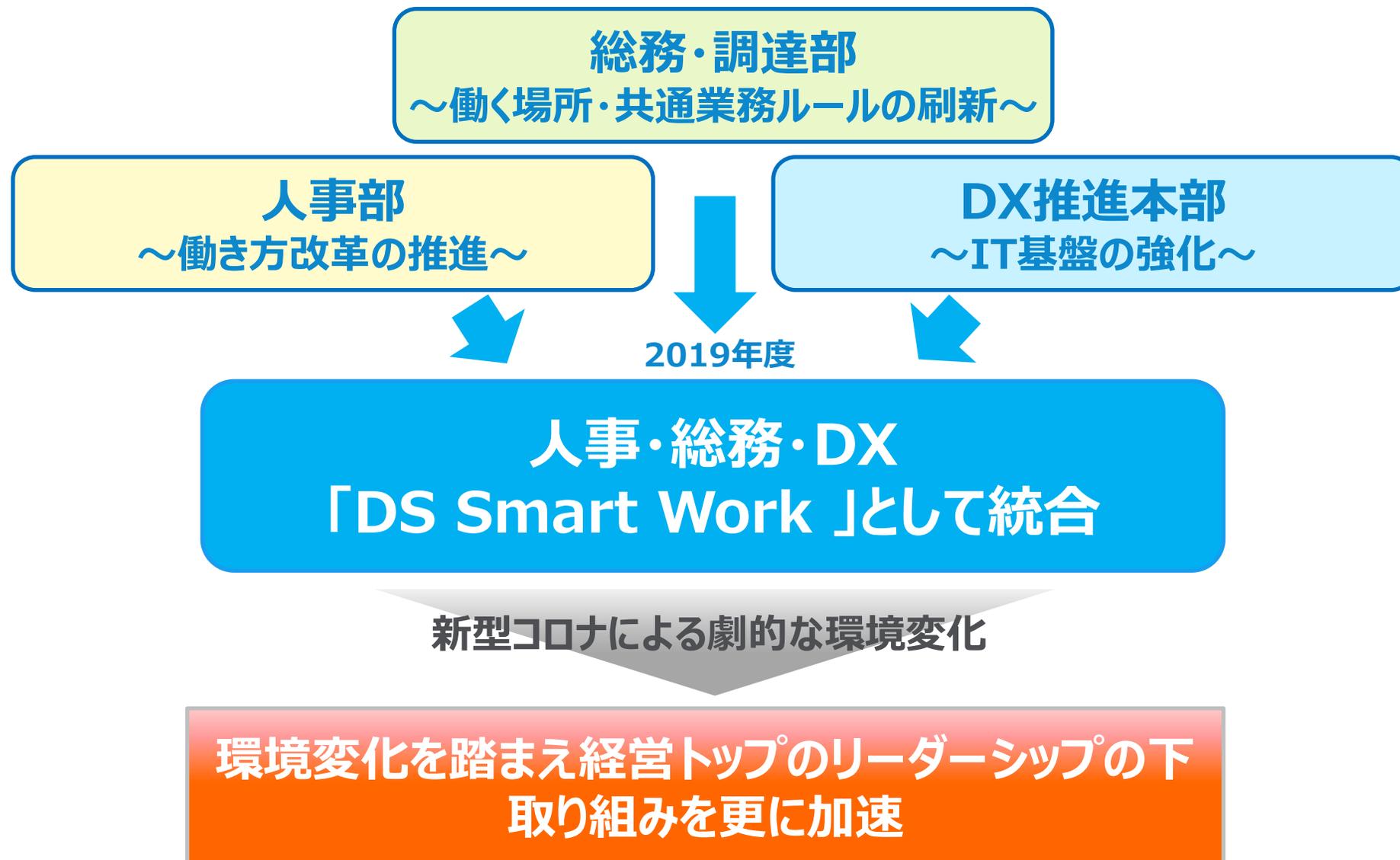
①多様な働き方の推進

②IT基盤強化

③オフィスの再設計

3.Global Work Style（グローバル）

■グローバル化進展への対応





経営メッセージ>>

(CEOによるメッセージ発信)



(社内Portalでの特設サイト開設)

SPECIAL FEATURE 2
DSグループのこれからの働き方

DS Smart Work

「DS Smart Work」とは、一人ひとりの「生産性向上」と「エンゲージメント向上」を目的に、従来の働き方や時間の使い方を見直し、継続的な付加価値創出と働きがいの向上を目指す取り組みです。
ここでは生産性を「時間あたり付加価値」と捉えています。
付加価値創出につながる時間のシフトや、新たな技術やスキルの獲得による付加価値拡大とともに、すべての社員が仕事への誇りややりがいを高め、能力を最大限に発揮できる環境整備に取り組みます。
働き方のしくみや制度に加え、ファンリティア面の課題解決やIT基盤の強化を一体的に進めるため、人事部・総務・調達部、DX推進本部を中心に、関係部所が連携してDS Smart Workの取り組みをスタートしました。

(社内報での特集)

WHAT IS PRODUCTIVITY?

マンガで解説! そもそも「生産性」って何だろう?

「生産性」ってDSグループではどういう意味ですか?

労働時間を減らすことかな? 実はあまりピンと来ていないという声をきくわ

生産性の向上

付加価値

労働時間

私がご説明しましょう!

生産性は「時間あたり付加価値」!

限られた時間でいかに「付加価値」をあげるかがポイントなんです

「付加価値」とは製品やサービスの新たな価値や利益「あらゆる業務」の品質のこと

付加価値!!

全ての社員が各組織のビジョンやミッションに照らして自分たちが創出すべき「付加価値」とは何かを考えることが大切なんです

でも、何から始めればいいんだろう...

まずは日々の業務を見直してみてください

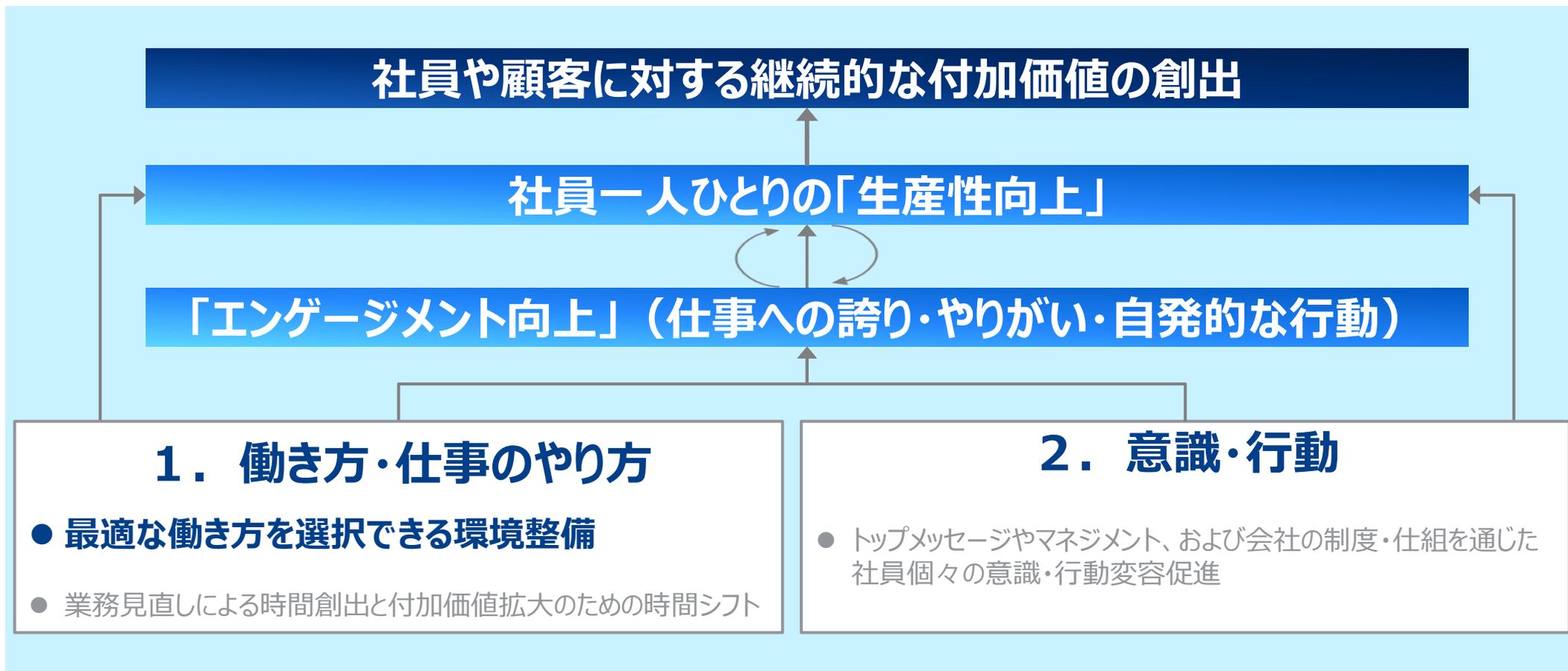
たとえば環境が変わっているのに慣習で続けている業務はありますか?

削減できる業務は削減して、付加価値につながる時間へとシフトさせていきましょう

10 | FATYO | 2021 No.53

(マンガでの解説)

DS Smart Workの目的



最適な働き方を選択できる環境整備

最適な働き方の実現

多様な働き方の推進

業務特性とライフスタイルに応じた
働き方の選択肢拡充

オフィスの再設計

業務のステイタスに応じて
就業エリアを選択できるオフィスの再設計

IT基盤の強化

ストレスフリーでどこでも仕事ができるIT環境



最適な働き方を選択できる環境整備

最適な働き方の実現

多様な働き方の推進

業務特性とライフスタイルに応じた
働き方の選択肢拡充

オフィスの再設計

業務のステイタスに応じて
就業エリアを選択できるオフィスの再設計

IT基盤の強化

ストレスフリーでどこでも仕事ができるIT環境



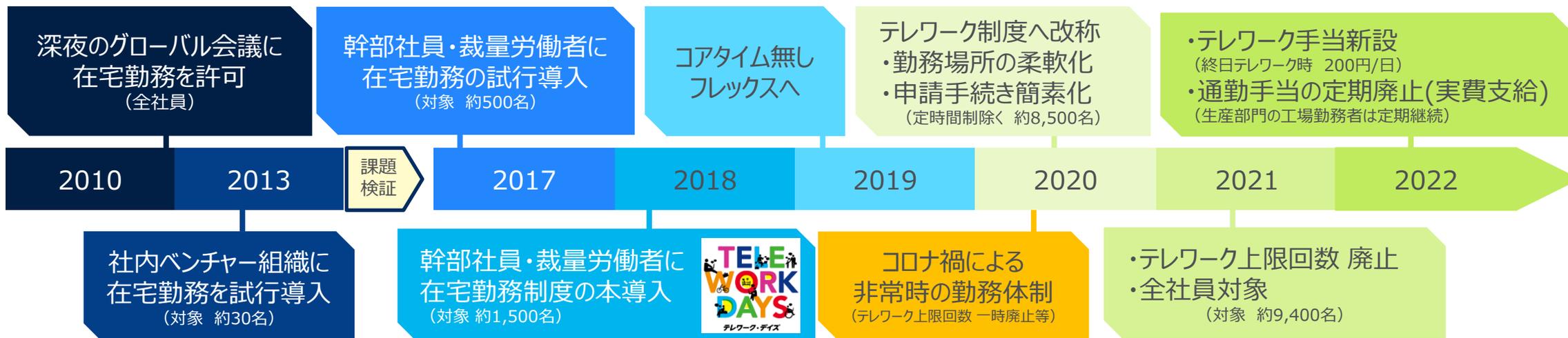
多様な働き方の推進（柔軟な勤務体系とテレワーク制度の拡大）

柔軟な勤務体系



労働時間制度		主な適用
①定時間制		生産部門
②フレックスタイム制		コーポレート・スタッフ部門
③裁量労働制	企画業務型	コーポレート・スタッフ部門
	専門業務型	研究開発部門
④事業場外みなし労働制		営業部門

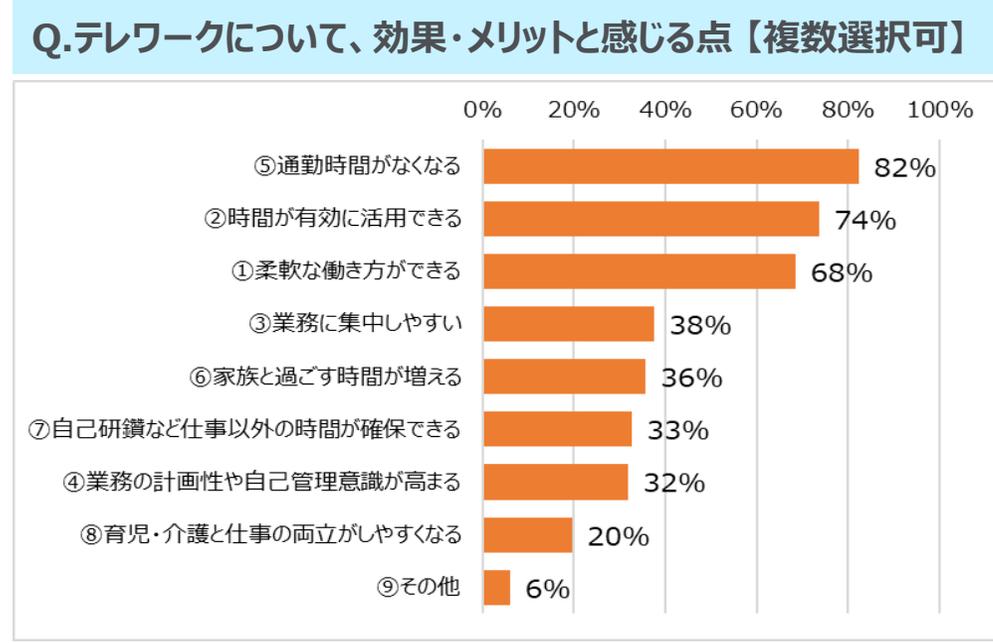
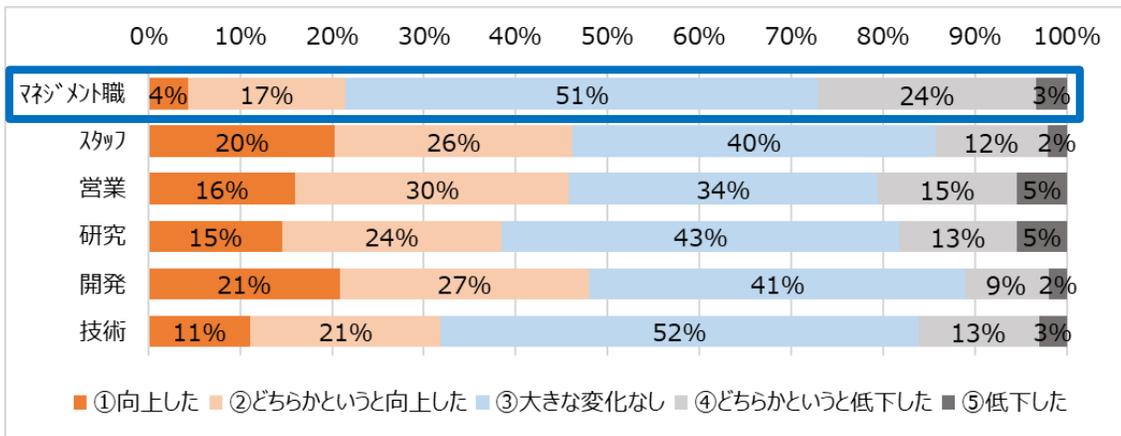
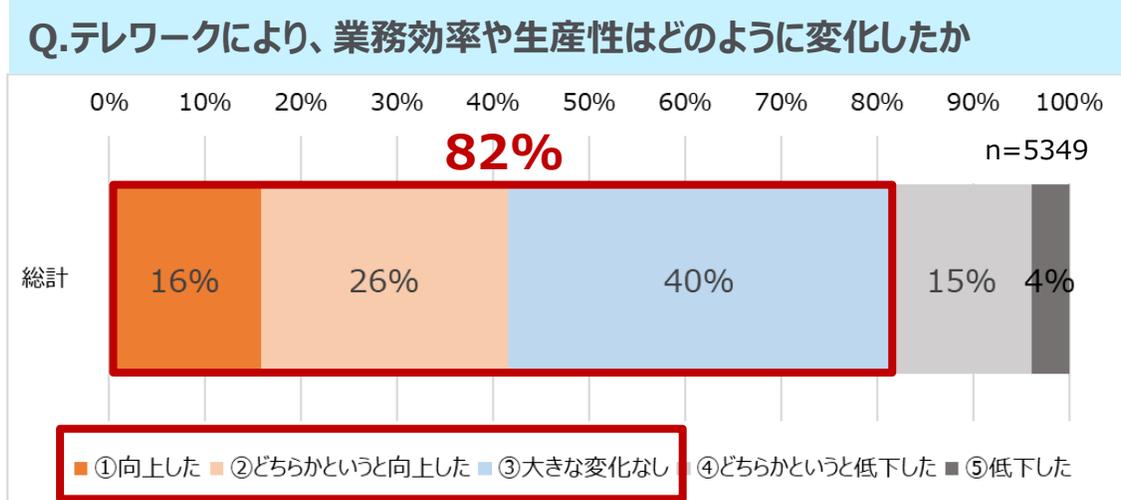
テレワーク制度の拡大



テレワークに関する社内アンケート結果（国内第一三共グループ アンケート全社員）



2020年7月 国内第一三共グループ アンケート（全社員）



- 【記述コメントピックアップ】
- 1.会議室の制限がなくなり、課題解決のためのコミュ量が増えた
 - 2.同僚のスケジュールや業務量を把握しようという意識が高まり、意識的な情報共有や互いの勤務計画の共有が進んだ
 - 3.早朝・深夜のグローバル会議による負担が軽減した
 - 4.今まで気づかなかった非効率な業務プロセスの改善きっかけになった
 - 5.テレワークという選択肢により働き方の幅が広がり、ワークライフバランスが確保しやすくなった

テレワークに関する社内アンケート結果（国内第一三共グループ アンケート管理職）

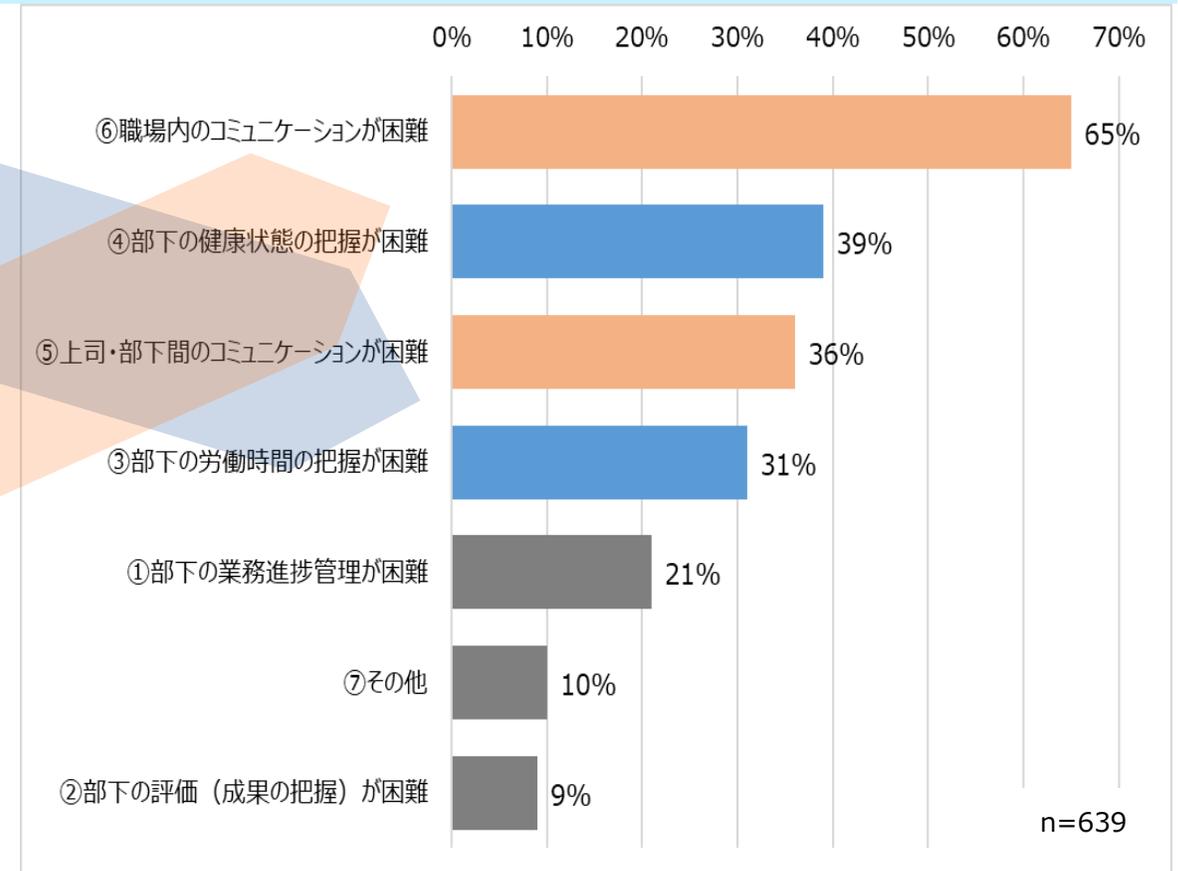
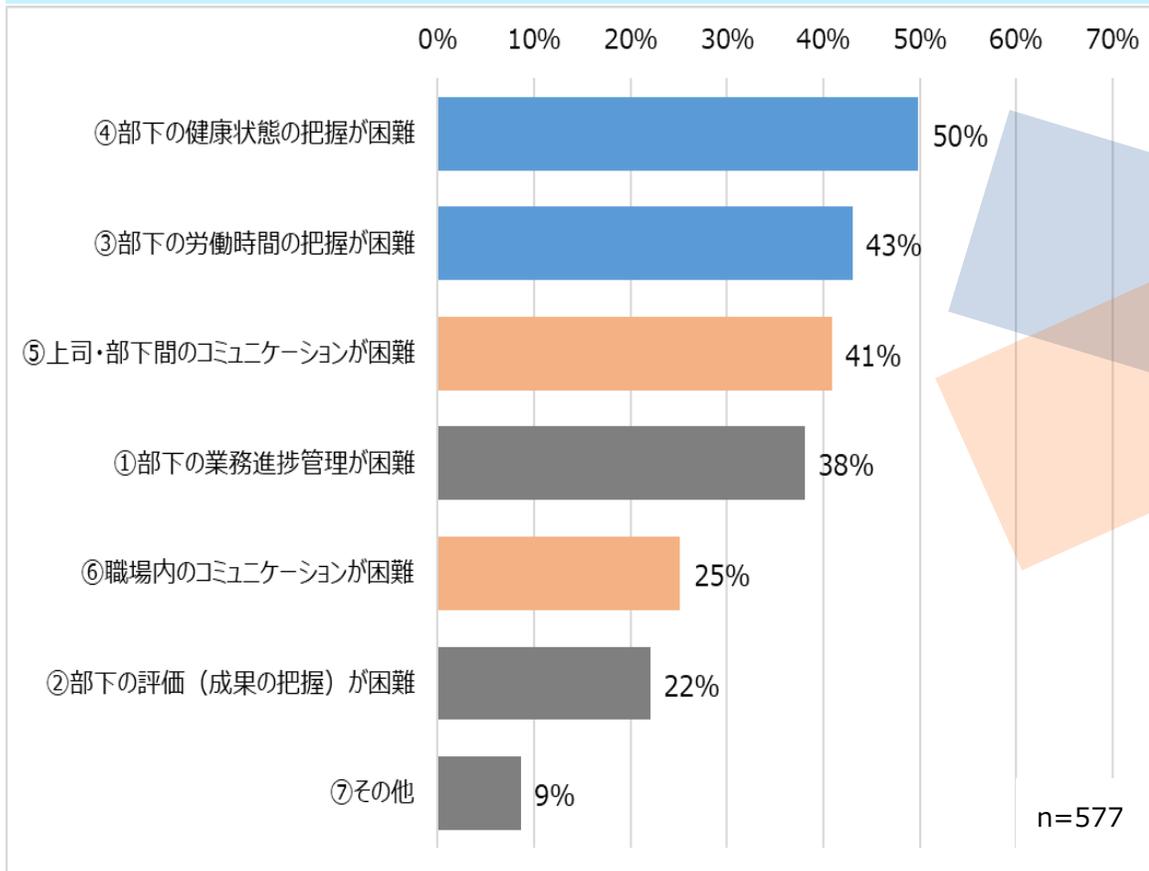
2020

2021

2020年7月 国内第一三共グループアンケート（管理職）

2021年6月 国内第一三共グループアンケート（管理職）

【マネジメントの観点から支障を感じている点】（複数回答可）



テレワークに関する取り組み（一例）

①主に労働時間・健康に関連 ②主にコミュニケーションに関連 ③総合的な内容（①・②の要素含） ④その他

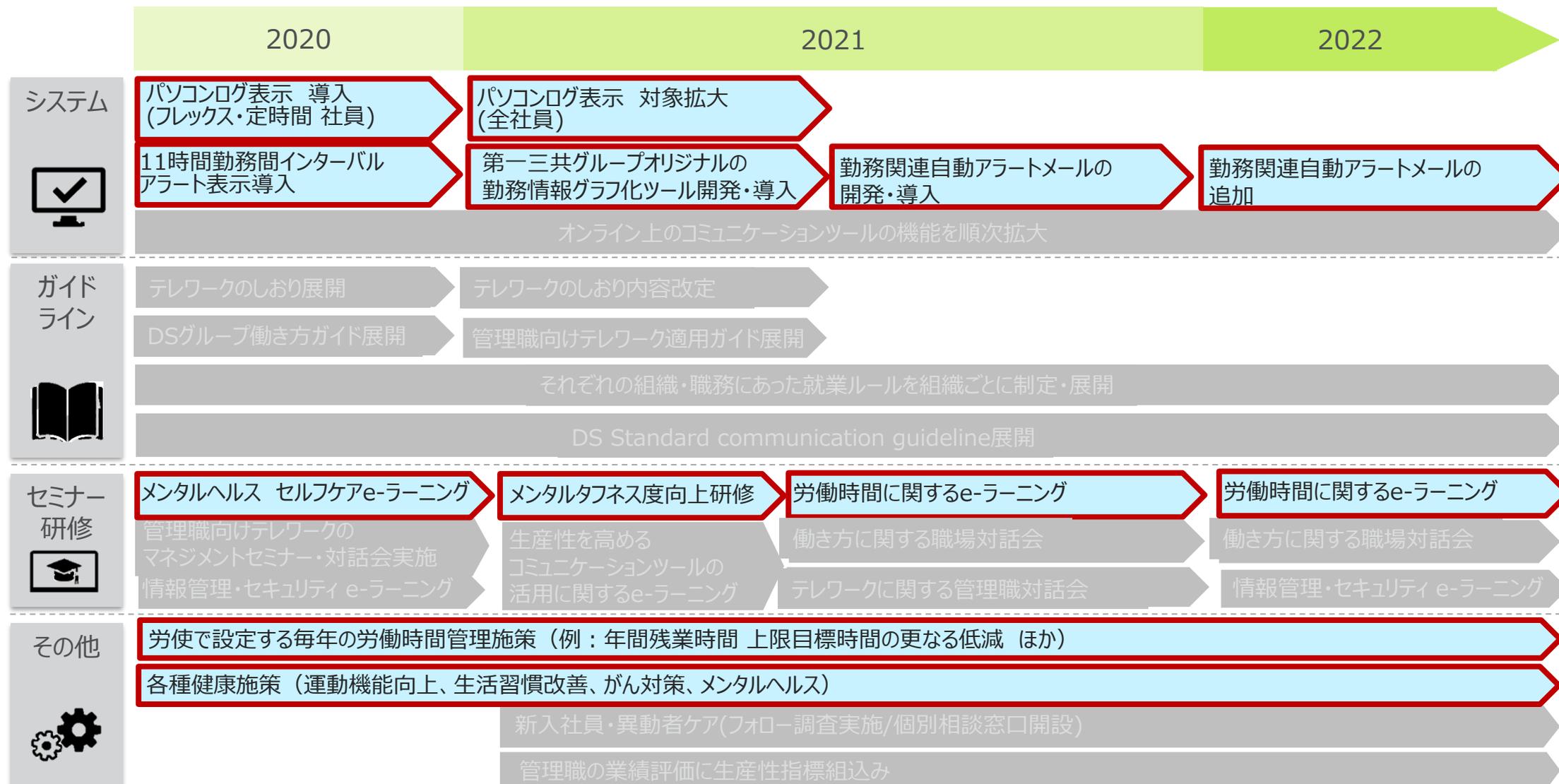
各課題を踏まえたうえで、多角的に施策を実施



主に労働時間・健康に関連した取り組み（一例）

①主に労働時間・健康に関連 ②主にコミュニケーションに関連 ③総合的な内容（①・②の要素含） ④その他

各課題を踏まえたうえで、多角的に施策を実施



主に労働時間・健康に関連した取り組み（一例）

健康保持のため、適正な労働時間管理や長時間労働の防止対策を徹底

第一三共グループオリジナルの
勤務情報グラフ化ツール開発・導入



11時間勤務間インターバル確保に向けた
勤務入力画面でのアラート表示

PC開始	PC終了	始業	終業	勤務間 インターバル
07:58	18:10	08:00	18:10	10:30

勤務間インターバル(11時間)が確保されていません。次回以降、確保して下さい。

労使で協議・決定した
第一三共グループ労働時間管理施策

- ・幹部社員や裁量労働制等も含めた全社員健康管理時間の年間上限時間設定
 - ・36協定の特別条項付き協定2年連続締結防止
 - ・有給休暇取得促進15日以上取得（2025年には18日以上を目指す）
- （ほか）

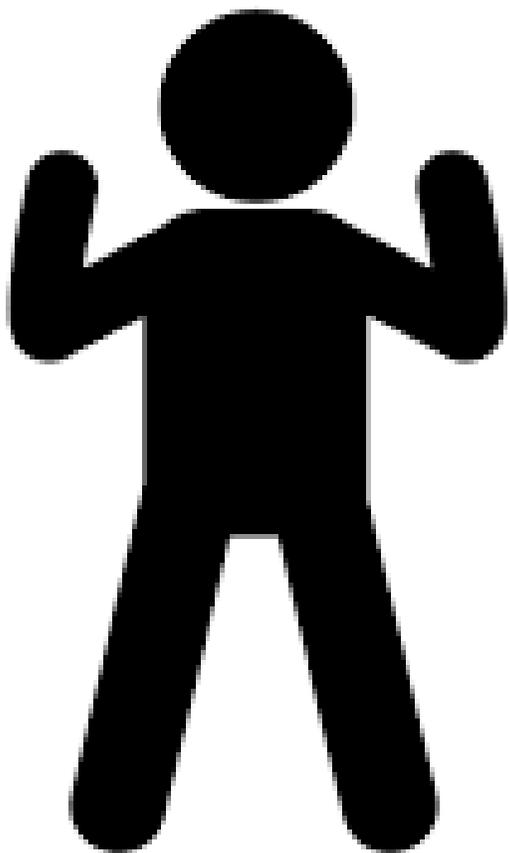
その他 労使協働での
各種労働時間管理施策等を実施

年間総労働時間推移



*：厚生労働省 毎月勤労統計調査より算出

各従業員は健康課題は様々なため、4つの重点領域で、支援策を複数用意
各従業員が自身の健康課題に合わせて選択することで、健康増進を図れる環境を整備



重点領域	2021年度 新規対策メニュー	内容
運動機能 向上	筋力アップ	★お笑い健康ライブ + 4週間フォローアップ動画
	運動文化の醸成	★DSオリジナル体操の作成
生活習慣 改善	運動の習慣化	★スポーツクラブ法人割引（法人契約料金の適用）
	健康行動の実践	★健康改善アプリの利用費補助（カロママプラス）
がん対策	禁煙推進	★オンライン禁煙外来の費用補助
メンタル ヘルス	メンタルタフネス	★メンタルタフネス度向上研修のオンライン実施
	異動者・入社者ケア	★異動者・入社者を対象としたWevox調査

One DS EXERCISE



項目	内容
体操の内容	・下肢の柔軟性・筋力向上 ・眼精疲労や姿勢改善のためのストレッチ
体操の時間	3分（日本語版・英語版）
体操の構成	実施環境や体カレベルに合わせ、 立位・座位の2パターンを準備

日本のみならず世界中で展開
グループ全体で一つの動画を！
体操動画コンテスト開催予定

主にコミュニケーションに関する取り組み/総合的な内容（一例）

①主に労働時間・健康に関連 ②主にコミュニケーションに関連 ③総合的な内容（①・②の要素含） ④その他

各課題を踏まえたうえで、多角的に施策を実施



最適な働き方を選択できる環境整備

最適な働き方の実現

多様な働き方の推進

業務特性とライフスタイルに応じた
働き方の選択肢拡充

オフィスの再設計

業務のステイタスに応じて
就業エリアを選択できるオフィスの再設計

IT基盤の強化

ストレスフリーでどこでも仕事ができるIT環境



IT基盤に関するDX推進ユニット中心に新しいツールを積極的に導入

社外でも業務可能な モバイルツール

モバイルPC(全社員)



2021年

タブレットモードでも
利用できる高スペックな
PCに置き換え

iPhone (全社員)



2010年(MR)
2016年(全員)

固定電話は原則廃止

iPad(全MR)



2011年

ペーパーレス化推進

経費精算システムの刷新



2021年

紙が必要であった
経費精算が
スマホで可能に

押印の廃止・削減

2020年

例) 人事関連資料だけで
28種類の書類の押印廃止
(残るのは対外的に必須なもの)



電子署名システムの導入

新ITツールの導入

名刺管理アプリの導入



2021年

オンラインでの
名刺交換可能に

バーチャルオフィスの試行

2021年

(一部の部所で試行中)
オンライン上での
「ちょっといいですか」が気軽に



会話文字起こしアプリの導入



2021年

オンライン上での会話の
議事録の自動作成が可能に

最適な働き方を選択できる環境整備

最適な働き方の実現

多様な働き方の推進

業務特性とライフスタイルに応じた
働き方の選択肢拡充

オフィスの再設計

業務のステイタスに応じて
就業エリアを選択できるオフィスの再設計

IT基盤の強化

ストレスフリーでどこでも仕事ができるIT環境



ABW（Activity Based Working：働く場所や時間を自由に選択できる働き方）を軸に オフィスの再設計を2018年度から順次展開

（例）本社オフィスの高度活用



ペーパーレス保管文書
46%を削減

（キャビネット9,430段→4,340段）
紙文書電子化や保管資料の削減を
行ったうえでレイアウト変更
紙に依存しないワークスタイル実現

すべての会議室に
モニターやスピーカーを設置し
WEB会議環境を整備

各フロアに電話ブース・ソロブース等設置

クリアデスク推進によるセキュリティ向上

フリーアドレス・グループアドレス制の展開

上下昇降機の導入による健康増進

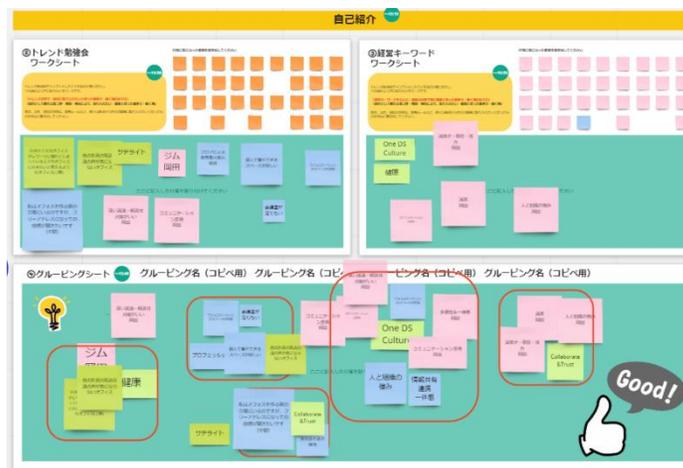
これからもオフィス環境の進化のために
本社地区の約20部所から代表者が集まり、将来におけるオフィスの在り方を検討

(例) 複数回にわたりオンラインでのワークショップを実施



聴講形式

働く場・働き方に関する
トレンドの理解



グループワーク

参加メンバー同士の経験の共有
ありたい理想のワークシーンは？
(オンラインホワイトボード使用)



アンケート

代表者以外も含めた
ありたい姿の意見集約

最適な働き方を選択できる環境整備

最適な働き方の実現

多様な働き方の推進

業務特性とライフスタイルに応じた
働き方の選択肢拡充

オフィスの再設計

業務のステイタスに応じて
就業エリアを選択できるオフィスの再設計

IT基盤の強化

ストレスフリーでどこでも仕事ができるIT環境



(参考) 新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

社内向けポータルに特設サイト

- ・世間の感染状況や国・自治体からの要請に応じた就業対応の迅速な連絡
- ・生命関連企業として、研究開発に関する事項、困っている地域への寄付情報なども発信

新型コロナウイルス感染症 特設サイト 



第一三共グループは新型コロナウイルス感染防止対策として、感染防止措置と生命関連産業としての責務である事業継続の両立に取り組んでいます。このページでは当社の新型コロナウイルス感染症に関する情報を随時発信していきます。

就業対応等に関するお知らせ 

経営からのメッセージ 

全社および国内での取り組み 

海外グループ会社での取り組み 

感染症対策について

 公式Facebook
当社の新型コロナに関する情報を発信しています

[3つの「密」を避けるための手引き](#)
※ 出典：首相官邸ホームページ

[一般的な感染症対策について](#)
※ 出典：首相官邸ホームページ

1.第一三共グループ概要

2.DS Smart Work（国内）

■背景・目的

①多様な働き方の推進

②IT基盤強化

③オフィスの再設計

3.Global Work Style（グローバル）

■グローバル化進展への対応

※セミナー当日ご紹介

当社の
パーパス

世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

今後とも当社パーパスの実現と
アフターコロナを見据えた持続的成長に向け、
社員の心と身体の健康及びダイバーシティに最大限配慮した
働きがいのある職場環境を追求する



第一三共グループは世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献してまいります

